

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成29年度採択分）  
「オープンアクセス化を果たしたPlant Production Science誌の更なる国際情報発信展開」  
（課題番号：17HP2001）

学術団体名：日本作物学会  
学術刊行物の名称：Plant Production Science（略称：PPS）  
事業期間：平成29（2017）年度～令和3（2021）年度

## 1 取組の概要

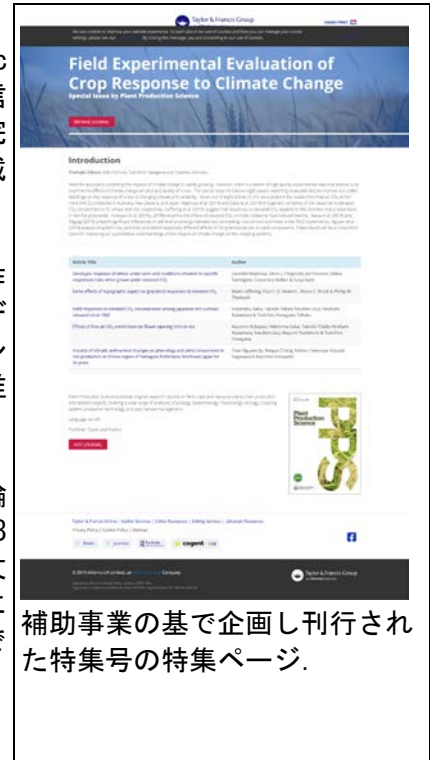
### ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

本取組は、日本作物学会が発行する英文誌Plant Production Science（PPS）をもとに、作物・資源植物の生産に関する研究成果の発信強化を目指すものである。PPSは2016年に完全オンライン化および完全オープンアクセス化を果たしており、次なる展開として、PPS掲載論文へのアクセシビリティ向上、優れた論文の投稿促進を図る。そのためにこれまでに以下の取組を行った。

(1) PPS掲載論文の質向上、(2) 論文審査体制の強化、(3) 海外作物学会との連携強化、(4) 国際編集会議の開催、(5) PPS掲載論文データベースの作成と発信・活用促進、(6) 海外学会でのプロモーション活動の推進、(7) インターネット上でのプロモーション活動推進とAltmetricsによる自己評価。

### ・応募時に設定した取組の目標・評価指標

(1) IFの向上：2019年に1.5、2021年に2.0以上を目指す。(2) 論文審査体制の強化：外国人編集委員の割合を30%に引き上げる。(3) 海外からの投稿論文数の増加と採択率向上：海外からの投稿論文数を増やし、海外投稿論文の採択率を2019年に30%、2021年に40%に引き上げる。(4) PPS掲載論文のデータベース化とホームページでの公開(5) Altmetricsによる論文評価：全掲載論文にscoreが付くことを目指す。



## 2 目標の達成状況

### ・現在までの目標の達成状況

(1) IFの向上：2016年の0.612から2018年の1.23へと倍増した。(2) 外国人編集委員の割合が35%となった。(3) 投稿数は2016年の77件から2018年の94件へと増加した。採択率は2016年の12%から2018年の23%へと増加したものの目標値を下回った。(4) PPS掲載論文のデータベースを作成し、ホームページで公開した。(5) Altmetricsの普及活動を行っているが全掲載論文にscoreが付くには至っていない。

### ・今後の計画

引き続き以下の活動を行っていく。(1) PPS掲載論文の質向上：特集号の企画を継続する。(2) 論文審査体制の強化：新たな外国人編集委員を加え、国際化基準となる審査体制の確立を目指す。(3) 海外作物学会との連携強化。(4) 国際編集会議の開催：アジア作物学会議を有効利用する。(5) PPS掲載論文データベースの作成と発信・活用促進。(6) 海外学会でのプロモーション活動推進。(7) インターネット上でのプロモーション活動推進とAltmetricsによる自己評価：特集号の宣伝と、Altmetricsの普及活動を強化する。

